(平28)

国語採点基準

(総点100点)

〔注意〕
1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
4 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
5 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題	正答	配点
1		
1 (1)	かわ(かす)	2
1 (2)	おんきょう	2
1 (3)	にじ	2
1 (4)	しっそう	2
1 (5)	じょうと	2
2 (1)	周囲	2
2 (2)	倉庫	2
2 (3)	営(む)	2
2 (4)	治(める)	2
2 (5)	専念	2
1 3	イ	2
1 4	エ	2
1 5	ウ	2
1 6	エ	2
1 7	ア	2
2		
2 1	ひろいいたる	2
2 2	(例)曾参が留守で、もともと家も貧しいから。	2
2 3	ウ	2
2 4	イ	2
2 5	エ	2
3		
3 1	ウ	3
3 2	ア	2
3 3	初め 物質を単に 終わり システム	4
3 4	イ	3
3 5	エ	3
3 6	(例)植物に必要な栄養であり最も枯渇の早い窒素は植物量を決め、植物量は食物連鎖を経て動物の使用可能なエネルギーを決めるから。	5
4		
4 1	ウ	3
4 2	エ	3
4 3	(例)人間がいま生きてここにいるということ。	4
4 4	(例)劇の役を演じることはできないということ。	4
4 5	イ	3
4 6	ア	3
5		20

(評価の観点)
1 形式 目的に応じた適切な叙述であるか。字数が条件に合っているか。
2 内容 設定したタイトルについて、自分の考えとその理由が明確に表現されているか。話題が適切で説得力があるか。
3 表現・表記 文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなどが適切であるか。語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。
※ これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。

◇M9(422—54)